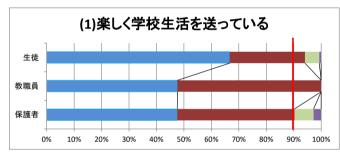
令和4(2022)年度第2回 南犬飼中の教育に係るアンケート結果並びに考察 壬生町立南犬飼中学校

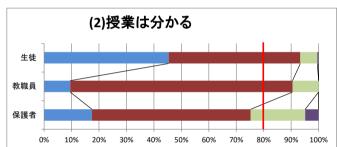
よくあてはまる ゆやあてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

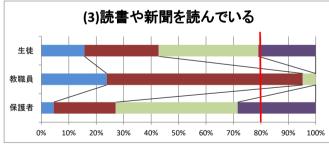
アンケートの見方

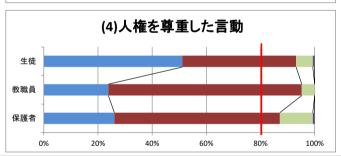
生徒、保護者、教職員それぞれが、同じ項目を「生徒の姿」を通して自己評価し、比較しています。グラフ内の縦線は、年度当初に目標値として立てた数値指標を表しています。数値指標は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合としています。 アンケート実施R4.12

学校生活全般(共通)



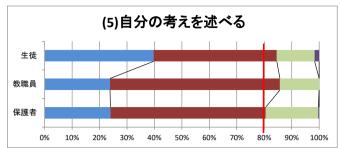


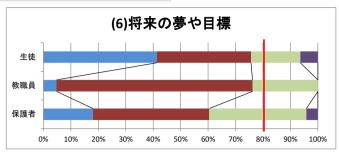


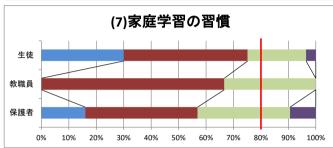


- (1)(4)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成しています。
- (2)は生徒・教職員は、指標を達成しています。分かると答えた生徒が9割をこえていることからも「授業は分かる」実態が把握できます。また、 教職員も9割に達しているため分かりやすい授業を意識している実態と言えます。保護者に授業や学校行事等を徐々に公開する機会を増 やしてきました。今後も、授業を含めた、学校生活の様子を公開する機会を確保します。
- (3)は、朝の読書は定着し、時間前に読書を始める生徒も多く見られます。「新聞を読む」ことについても生徒・教職員・保護者のポイントが前回7月より上がっています。今後も学校では、複数の新聞記事に気軽に目を向けたり、授業で活用したりするNIE教育を推進し、意味のある行為につなげていきます。

学ぶ力を育む



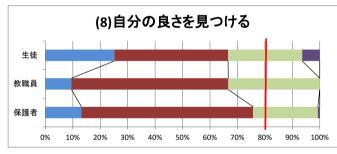


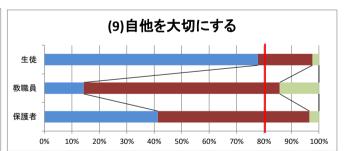


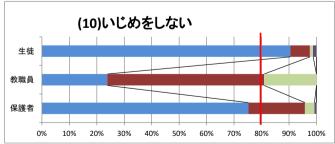
(5)は、生徒・教職員・保護者ともに指標を達成しています。特に生徒に関しては、「考えを持つ」「想いを伝える」活動が充実している実態が 把握できます。引き続きすべての教育活動において、自分や仲間の考えを大切に取り上げる取組を実践していきます。 (6)(7)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標に到達しませんでした。ただし、生徒・教職員・保護者のポイントが前回7月より上がってい

(6)(7)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標に到達しませんでした。ただし、生徒・教職員・保護者のポイントが前回7月より上がっています。引き続き、家庭学習の習慣化や学習の習慣化を図るため、具体的な取組を行っていきます。学習への自信が、夢や目標とも連動していくものと考えます。

豊かな心を育む



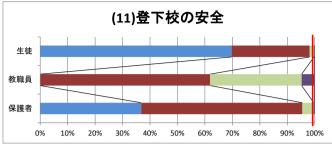


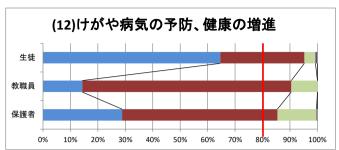


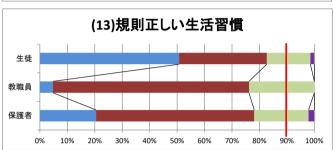
(9)(10)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し良い状態にあります。生徒及び保護者と教職員とで認識の差は見られます。教職員は、学校全体を把握していること、他に対してさらに思いやりの気持ちを抱いてほしいとの期待が込められています。生徒に対して励ましの言葉掛けを増やしています。

(8)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。第3学期のテーマとして、「強みを知り、強みを生かそう」を取り上げました。強みが成長につながる意識を持たせ、自信につなげていきます。

健やかな体を育む





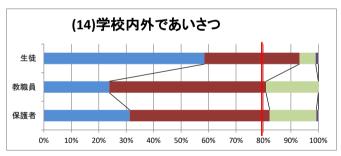


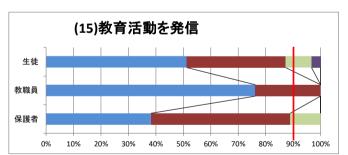
(12)は、生徒・保護者・教職員とも指標を達成し大変良い状態にあります。新しい生活様式の下、マナーを守った生活が浸透していること が要因と考えます。栃木県健康推進学校「最優秀校」を受賞するなど、活発な活動も展開されています。

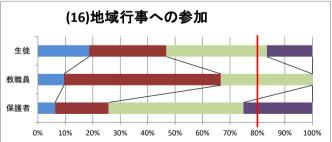
(11)は、生徒・保護者・教職員のいずれも指標を達成できませんでした。生徒・保護者ともに9割近く安全を意識している実態は把握できま す。登下校時の生徒の様子に関して、地域の皆様から何度かご指摘を受けました。交通ルールを遵守する指導を継続し、交通事故0を 目指します。

(13)は、生徒・保護者・教職員のいずれも課題となりました。コロナ禍で、家で過ごす時間が多くなりました。(7)家庭学習の習慣化とも連 動させながら、限られた時間を大切にする生活習慣を心掛けさせます。

地域とともにある学校







(14)は、生徒・保護者・教職員ともに指標を達成しています。生徒会が中心となり、毎月はじめに自主的にあいさつ運動に取り組んできた 成果が見られます。今後も継続して実践していきます。

(15)は、教職員のみ指標を達成しています。今後も学校だより、学年だより、各種たよりやホームページによる教育活動の発信に努めていきます。ホームページに学校の最近の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。 (16)は、実施できる地域行事が戻りつつあります。実施できる地域行事だけでなく、ボランティアとして「小さな貢献」を増やしていきます。